

採点基準 数学（文系）

【共通事項】

1. 約分の未了、根号内の整理不備は 1 点減点
2. 分母の有理化の不備については減点なし
3. 別解の配点は解答の配点に準ずる

【文系】（100 点満点）

第 1 問（24 点満点）

- (1) (配点 8 点)
 - ア～ウの答えに 8 点（ア、イ 各 2 点、ウ 4 点）
- (2) (配点 8 点)
 - エ～カの答えに 8 点（エ、オ 各 2 点、カ 4 点）
- (3) (配点 8 点)
 - キ～ケの答えに 8 点（キ、ク 各 2 点、ケ 4 点）

第 2 問（16 点満点）

- (1) (配点 8 点)
 - ア～エの答えに 8 点（ア、イ 完答 2 点、ウ 2 点、エ 4 点）
- (2) (配点 8 点)
 - オ～キの答えに 8 点（オ、カ 各 2 点、キ 4 点）

第 3 問（16 点満点）

- (1) (配点 8 点)
 - ア～ウの答えに 8 点（ア、イ 各 2 点、ウ 4 点）
- (2) (配点 8 点)
 - エ～カの答えに 8 点（エ、オ 各 2 点、カ 4 点）

第 4 問（30 点満点）

- (1) (配点 6 点)
 - P_1 を求めて 3 点
 - P_2 を求めて 3 点
- (2) (配点 6 点)
 - 確率を求める式を立式して 3 点
 - 確率を求めて 3 点
- (3) (配点 9 点)
 - 条件をみたま 2 つの場合のうち片方の確率を立式して 3 点

- 条件をみたま 2 つの場合のうちもう一方の確率を立式して 3 点
 - P_3 を求めて 3 点
- (4) (配点 9 点)
- 試行を終えるまでに取り出した玉の個数が 4 個以上であるときの確率を求めて 2 点
 - 一度も赤玉を取り出さず、かつ試行を終えるまでに取り出した玉の個数が 4 個以上である確率を求めて 3 点
 - 条件付き確率を求める式を立式して 2 点
 - 条件付き確率を求めて 2 点

第 5 問 (30 点満点)

- (1) (配点 8 点)
- ア～エの答えに 8 点 (各 2 点)
- (2) (配点 6 点)
- 接線の方程式を立式して 3 点
 - 交点の y 座標を求めて 3 点
- (3) (配点 16 点)
- 方針を明示して 3 点
 - 増減表をかいて 3 点
 - 求める k の値の範囲を求めて 3 点
 - k が最大のときの s を求めて 2 点
 - k が最小のときの s を求めて 2 点
 - s のとり得る値の範囲を求めて 3 点

第 6 問 (30 点満点)

- (1) (配点 5 点)
- 正弦定理を用いて立式して 3 点
 - BC の長さを求めて 2 点
- (2) (配点 10 点)
- 余弦定理を利用して 3 点
 - CA の長さを求めて 2 点
 - $\triangle ABC$ の面積を求める式を立式して 3 点
 - $\triangle ABC$ の面積を求めて 2 点
- (3) (配点 7 点)
- 余弦定理を利用して $\cos \angle ABC$ を求めて 2 点
 - $\triangle ACD$ に余弦定理を適用して 2 点
 - AD 、 DC の長さを求めて 3 点
- (4) (配点 8 点)
- $\sin \angle ADC$ を求めて 2 点
 - $\triangle ACD$ の面積を求めて 2 点

- $\triangle ACD$ の面積を内接円の半径を用いて表して 2 点
- $\triangle ACD$ の内接円の半径を求めて 2 点

第 7 問 (30 点満点)

(1) (配点 12 点)

- ア～カの答えに 12 点 (ア、イ 完答 3 点、ウ 3 点、エ、オ 完答 3 点、カ 3 点)

(2) (配点 3 点)

- C_2 の概形をかいて 3 点

(3) (配点 6 点)

- 交点の x 座標を求める式を立式して 2 点
- 交点の座標を求めて 4 点

(4) (配点 9 点)

- $g(x)=3$ として立式して 2 点
- x の値を求めて 2 点
- k の値の範囲を求めて 5 点